

施策評価シート

令和 5 年度

総合 体系 計画	分野	3	第3章	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	施策統括課	健康づくり課
	施策No.	4	施策名	健康づくりの推進と保健・医療の連携	課長名 (施策統括責任者)	村口 滋慶
	関係課	保険年金課 健康づくり課 学事課 富士大和温泉病院 三瀬診療所				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民一人ひとりが、健康づくりと疾病予防に取り組み、健診等により病気の早期発見・早期治療につなげるとともに、安心して医療が受けられることにより、地域でいきいきと健康に暮らしている。
取組方針	市民一人ひとりが健康に暮らしていくために、ライフステージに応じた健康づくりの支援や疾病予防などに努めます。また、安心した生活に欠かせない救急医療体制の確保と中山間地域の医療の充実に取り組みます。

2. 施策の意図と成果指標

対象 (誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	市民						
意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)	市民一人ひとりが、健康づくりと疾病予防に取り組み、健診等により病気の早期発見・早期治療につなげるとともに、安心して医療が受けられることにより、地域でいきいきと健康に暮らしている。						
成果指標 A							単位
毎年 (3年以上継続して)、何らかの健診を受けている市民の割合							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
62.7	64.0 61.1	65.2 68.1	66.4 63.2	67.6 58.6	68.8 0.0	70.0	
成果指標 B							単位
生活習慣病の指導対象者の割合 (佐賀市国保特定健診受診者)							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
58.1	56.7 61.0	56.7 61.6	56.7 60.5	56.7 58.9	56.7 0.0	56.7	
成果指標 C							単位
健診結果を自らの健康管理に活かしている市民の割合							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
75.2	76.0 75.0	76.8 72.3	77.6 76.6	78.4 74.0	79.2 0.0	80.0	
成果指標 D							単位
健康寿命と平均寿命の差 (男性)							年
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
1.14	1.13 1.18	1.12 1.07	1.11 1.00	1.10 0.88	1.09 0.00	1.08	
成果指標 E							単位
健康寿命と平均寿命の差 (女性)							年
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
2.66	2.64 2.47	2.62 2.52	2.60 2.38	2.59 2.21	2.58 0.00	2.57	

## 施策評価シート

### 3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	53.9%	52.3%	↓
ある程度重要である	36.1%	39.0%	↑
あまり重要ではない	2.7%	1.8%	↓
重要ではない	0.5%	0.9%	↑
順位	5/36位	7/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	8.6%	7.6%	↓
どちらかといえば満足	56.2%	57.6%	↑
どちらかといえば不満	18.7%	18.1%	↓
不満である	2.3%	2.8%	↑
順位	1/36位	1/36位	→

### 4. 社会潮流等の変化について（第2次総合計画策定時からの市民ニーズの環境の変化、法整備状況等）

- ・ 少子・高齢化が進んでいる。
- ・ 仕事と育児・介護との両立や多様な働き方の広まり、高齢者の就労拡大等、社会の多様化が進んできている。
- ・ 市民の、三大生活習慣病（がん、心疾患、脳血管疾患）を原因とした死亡の割合は約半数を占めており、データ分析による重症化予防が重要視されている。
- ・ 医療費が年々増大しており、財源である保険税は厳しい経済環境下で伸び悩み、医療保険財政は極めて厳しい状況にある。
- ・ 新型コロナウイルス感染症を機に、健康格差が拡大しているとの指摘もある。

### 5. 施策を推進していく上での新たな課題、新たな視点

- ・ 持続可能な社会保障制度に向けた、医療費適正化の必要がある。
- ・ 予防可能な生活習慣病の重症化予防や介護予防をすることで、健康寿命の延伸を図る必要がある。
- ・ 感染症の感染拡大による生活習慣の変化等を踏まえた健康づくりの取組を、状況に応じて検討する必要がある。

### 6. 施策の課題解決に向けた今後の取組の方向性・内容等

- ・ 医師会、歯科医師会、薬剤師会、その他の関係機関と緊密な連携を図る。
- ・ 健診受診率向上と健診結果の有効活用により、生活習慣病の発症予防・重症化予防対策に努める。
- ・ 保健指導により、住民の健康管理に対する意識の向上を図る。
- ・ 民間団体との連携により、運動習慣や健全な食生活習慣の地域への浸透を図る。